

朝倉市と九州電力㈱福岡支社の 「復興まちづくりに関する包括連携協定」の締結について

朝倉市（市長 林 裕二）と九州電力㈱福岡支社（支社長 安部 進一郎）は、復興まちづくりを協働して推進するため、包括連携協定を締結します。

朝倉市では、これまで平成29年7月に発生した九州北部豪雨の災害復旧に力を入れてきましたが、今後は復旧に加えて、将来に向けたまちづくりに取り組む段階に来ていると考えています。

つきましては、今回協定を締結し、復興に向けた課題の解決に協働して取り組み、朝倉市の持続可能なまちづくりを推進してまいります。

〔締 結 日〕 2020年2月20日（木）

〔主な取り組み〕

（１）防災に関すること

- ライフラインを含めた災害に強いまちづくり
- 災害の被害を拡大させた森林管理の強化
- 災害時の早期復旧のための体制整備および災害への備え（避難所の環境整備、備蓄品整備など）

（２）産業振興に関すること

- 観光資源の活用やサイクルツーリズムを組み合わせた観光振興
- 高付加価値作物栽培や農作業の省力化など農業後継者不足、農業従事者の高齢化の解決による農業振興

（３）活力あふれるまちづくりに関すること

- 学びの機会創出や地域コミュニティの強化による人が繋がる仕組みづくり

（４）前3項目に掲げるものの他、地域課題の解決や地域の活性化に関すること



〔目指すまちの姿〕

人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉



ずっと先まで、明るくしたい。

〔2030年のありたい姿〕

九州から未来を創る九電グループ

目指すまちの姿を実現するための基本目標

<9つの基本目標>

- 1 災害や危機に強く、安全・安心が実感できる暮らしの実現
- 2 人がつながり、支えあう活力ある地域社会の創造
- 3 誰もが健やかで、いきいきと暮らせる保健福祉の充実
- 4 次世代につなぐ良好な環境の保全
- 5 豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興
- 6 快適で住みよい都市基盤の充実
- 7 笑顔があふれ、将来に夢や希望をもち飛躍できる子どもの育成
- 8 生涯にわたる学び、活動の推進
- 9 透明性・効率性の高い持続可能な行財政運営

<横断的な取り組み重点分野>

- 1 災害からの復旧・復興
- 2 地方創生の推進

ありたい姿実現に向けた戦略

I エネルギーサービス事業の進化

- ◆ 低炭素で持続可能な社会の実現に挑戦し、より豊かで、より快適な生活をお届けします

II 持続可能なコミュニティの共創

- ◆ 九州各県の地場企業として、新たな事業・サービスによる市場の創出を通じて、地域・社会とともに発展していきます

III 経営基盤の強化

- ◆ 経営を支える基盤の強化を図り、九電グループ一体となって挑戦し、成長し続けます